



2022年4月3日主日共同礼拝

日本同盟基督教団 クリスチャンプレイズチャーチ

【様々な戦いに対する防備と勝利⑤-信仰の大盾-】

説教者: 鄭南哲牧師

聖書本文;エペソ人への手紙6章10-16節/ 暗唱聖句:詩篇28篇7節 (Rev.Jung nam-chul)

21年度の初、4月のはじめの主日共同礼拝に来られたみなさんを主の御名によって歓迎致します。

始まった21年度、4月の上にも日々主の最善の導きと見守り、御助けがいつも共にありますように、生きておられる神のさらなる祝福が愛するクリスチャンプレイズチャーチの全信仰の家族の上に豊かにありますようにお祈り申し上げます！愛するみなさん！一週間も様々な霊的な戦いにおいて勝ち取り、打ち勝つ一週間でしたか。キリストの平和と平安のうちにみなさんの心と思い、体がよく守られましたか。最近我々は人生の中で様々な霊的な戦いの中で勝利を治めて行くためにどのように生きるべきなのかエペソ人への手紙の御言葉を通して学んでいます。今日は5回目信仰の大盾で自分を守ることに一つ一緒に聖書を通して学んで行きたいと思えます。

## 1. 火矢を放つサタンの攻撃

今日の本文エペソ人への手紙6章16節を見ると、「これらすべての上に、**信仰の(大)盾を取りなさい。それによって、悪い者が放つ火矢を消すことができます。**」サタンともろもろの悪しき者たちが我らをどうやって攻撃するのかを見せてくれる単語が一つ出て来ます。どんな単語ですか。そうです。「**火矢**」という単語です。悪い者たちが神を信じる我らを倒すために今もたえず、激しく火矢を放ちながら、攻撃して来るということです。

愛するみなさん！今もなお、サタンは私たちの人生のあらゆる面に火矢を放っています。経済的苦しみの火矢を、人間関係が崩れる火矢をたえず放ちます。ある時は憤りで愛せないように、赦せないように火矢に放っています。また悪魔は度を過ぎた思い煩いや考えすぎるように、何もできないように気を捕らえられるように火矢を放っています。不安や恐れに捕らわれるように火矢を放ち、過去の罪責感や傷にずっと捕らわれるよう火矢を放っています。

サタンは火矢で私たちに攻撃します。ただ単に、サタン一人が放つから何とか上手に避ければ良いだろうと思うだけで終わることでは決してありません。たとえば、みなさんに向かって10万人の軍人たちが一斉(いっせい)に火矢を放つとどうなるでしょうか。避ける道はあるでしょうか。逃げれる道もなく、逃げる時間もありません。みなさんに一斉に悪い霊たちが火矢で総攻撃して来るのなら、私たちはどうすべきでしょうか。

## 2. 大盾の機能と役割(大盾なしには敵の攻撃から守られ、勝利にまで進むことが出来ません！)

戦場で矢が雨のように飛んで来る時、一番必要で助けになる武具何でしょうか。ただ一つです。その時は、大盾の後ろに身を隠し、塞ぐことが出来ます。当時ローマ時代の軍人たちが使った大盾は私たちが思うほど、小さい盾ではありません。長さが1メートル20センチ程度の意外と大きい盾だったそうです。背が低い人は体を少し伏せると全身が塞(ふさ)がるほど大きい盾でした。当時ローマ軍人たちが使った大盾の素材は木と皮でした。普段は布と皮のまま軽い状態で持ち歩きますが、戦争の時はわざと水まで濡らして持ちます。なぜならば、持ち歩くには重たいですが、火矢に射(さ)されても炎は広がらず、消されるようにするためでした。ローマ軍隊はこのような訓練を通して、大盾を柔軟に用いる方法を学んで熾烈(しれつ)な戦闘の場では敵の弓(ゆみ)と槍(やり)から自分の身を守ったわけでありませぬ。

### <当時大盾(ツレオス・スキュータム)の重要性>

盾(shield)という言葉はギリシャ語で  $\theta \upsilon \rho \epsilon \omicron \varsigma$ 「ツレオス」となっていますが、この単語は、元々は扉(door)を意味する  $\theta \upsilon \rho \alpha$ 「ツラ」という言葉から派生された言葉なのです。「扉」という言葉から、どうして「盾」という言葉が作り上げられたのか古代の戦闘の武具の一つであったこの大盾についてもっと詳しく知れば、信仰を大盾として教

えて下さった神の奥義がよりお分かりになると思います。

古代の戦争史を見ると、軍人たちが使っていた盾は大きく二つに分かれました。

武装(ぶそう)した歩兵(ほへい)たちが使っていた大きな長方形(ちょうほうけい)とか、大きな楕円形(だえんけい)の盾と、突撃(とつげき)部隊が使用していた小さな円形(えんけい)の盾二種類がありました。

その中、特にローマ軍が使用した「大盾」をヘブル語でחָשָׁל「チンナ」、ラテン語では「スキュータム(Scutum)」、ギリシャ語で「ツレオス」だと呼ばれました。特に、使徒パウロの当時、ローマ軍が使用したこの大盾(スキュータム)はまるで形が家のドア(扉)と似てて、家の扉みたいに大きくて、背が低い人であったならば、全身すべてを十分に塞(ふさ)ぐことが出来るほど大きかったのです。

ローマ軍が使用したこの大盾(スキュータム)の長さが、およそ 1-1.2m、幅 60-80cm、重さは 5-10kg程度とで、作られた素材は、木材で作られた盾でした。

軍隊が密集隊形(たいけい)となり、抜け目なくこの大盾(スキュータム)を繋げれば、敵の矢の攻撃を完全に無力化させながら、自分の体と部隊みんなを守ることが出来る保護幕の形をこの大盾で作るのが可能でした。

それだけではなく、敵軍がいくら突撃して来ても、一列に並び、この大盾で前方を完全塞ぎながら、防備することも出来ました。そして、続けて前進しながら、この大盾と大盾の間にアスタ(hasta)という長い槍を突き出しながら攻撃したり、接近戦が始まった時には大盾の間にクラディウス(gladius)と呼ばれる短い剣で差し込みながら、敵軍に攻めて行くと、どんなに強い相手の軍隊も、人数が多くても、その陣の扉を開け、無力化にさせることが出来たため、この大盾を元々扉の意味を持った言葉から、θυρεος「ツレオス」だと呼ばれるようになったわけです。

神様は、様々な悪霊どもの霊的戦いと攻撃に対し、無差別的な火矢の攻撃やどんな攻撃があっても、完全に守り切れる大盾がまさに我らの信仰であると教えて下さっています。

我らが様々な戦いにおいて、自分を守るためにはまずこの信仰の大盾なしでは守り切れないのを忘れてはいけません。様々な攻撃からしっかり防備しながら守りつつ、ずっと立ち止まっているのではなく、前進し続けながら、反撃し、ついに敵の陣営の扉を開き、打ち破って勝利にまで導くことに貢献出来るのがこの大盾、信仰！にあることを明確に教えて下さっているのです。ですから、この信仰が我らにどれほど大切であるかを明らかにして下さい。

この地上で生かされているうちに、さまざまな戦いと攻撃が来る時に、いつも自分と愛する者たちが共に十分に守られ、また戦い続け、共に勝利を治めて行くためには、この信仰の大盾なくてはならない、立ち向かう我らにとって最も重要で、必須的なものとして取っておくべきものであることが分かります。ですから、我らの信じる信仰こそ、私たちを守ってくれるので、いつもこの信仰の大盾をしっかり身に着け、握っていかなければなりません！

霊的な面において、私たちもこのような信仰の大盾をしっかり立たせば、悪魔の悲惨な火矢の攻撃を食い止め無力化させることが出来るのです。悪魔の目的は神の民に火矢を放って倒せるまで続こうとするのを忘れないで下さい。

ですから、今もなお、私たちが油断している間、悪魔は続けて矢を放つ攻撃に対し、それに対する結果は、二つの人生に分かれます。一つ目は矢の攻撃が信仰の盾で安全に守られている人です。いくら小さい火矢の攻撃でもいつも大きい信仰の盾の後ろに身を隠し自分自身を守りながら、対抗し続け、前進し続けます。いくら火矢の攻撃が来ても、敵をよく知っていて、敵の攻撃パターンまで全部分かるため、心配せず、信仰の盾を用います。何の恐れもありません。むしろ丈夫な信仰の大盾があるため、何が起こっても堂々と進み、冷静に向かい立つ事ができる人生です。

二つ目は攻撃して来る火矢が絶えず自分に射されるばかりなので、それにいつも左右されて、揺らぎが激しく、波

が激しいのです。毎日“たいへん、たいへん、苦しくて苦しくてしょうがない、生きるのが大変、いやだ。もうやりたくない！すべてが面倒くさいだ！”とつぶやきながら、いつも無気力と不平と絶望の状態の中で信仰を生かせることも出来ず、感謝と喜びを失ったまま生きている人たちもいます。射された矢がやっと取れたと思ったら、また新しい矢が飛んで来て倒れます。ずっと恨み、疑い、憎しみ、苦しみ、自己喪失、自己憐憫、否定、攻撃、不平不満など繰り返される人生もあります。そうです。信仰がある者にもない者にも、例外なく火のような試練はやって来ます。火のような試練が絶える日がありません。

しかし、信仰のある者はいつも大きい信仰の盾で火矢を防ぐことが出来るのです。それが祝福であり、平安を持てる保障になるのではないのでしょうか。

### 3. いつでも信仰の大盾をしっかり握りしめ、取りなさい！

みなさんは最近様々な火のような試練と霊的戦いの中自分自身をどう守りたいですか。じっとしていると、自動的に守られるわけではありません。信仰の大盾をいつもしっかり保って、立たせておかなければ、自分自身を守ることができないでしょう。

この信仰の大盾というのは何でしょうか。信仰の大盾というのは、神とイエスキリストを信じる信仰を意味します。ローマ人への手紙10章17節と一緒に読んでみましょうか。この信仰は自分勝手に信じるような信仰ではなく、神の御言葉からはじまり、御言葉に基づいています。「ですから、信仰は聞くことから始(はじ)まります。聞くことは、キリストについてのみことばを通して実現するのです。」何よりもみなさんの信仰の根拠はこの聖書にあることを忘れないでください。みなさんの信仰の元はこの神様の御言葉から始まることをいつも覚えてください。今自分自身にどれぐらいの信仰があるのか、どれほど信仰を持っている人なのか知りたくありませんか。それは簡単な事です。先週一週間どれだけ神様の御言葉を握って生きたのか。一日中でどのぐらい神様の御言葉をいただく時間を取ったのか。イエスキリストの御言葉に関して自分の最近の姿勢を振り返ってみれば自分の信仰が最近どのぐらいなのかがよくわかってくると思います。

ここで信仰というのは、神とイエスキリストを信じる信仰を意味します。

申命記33章29節「幸いなイスラエルよ、だれがあなたのような、主に救われた民であろうか。**主はあなたを助ける盾、あなたの勝利の剣。**」

サムエル記第二22章3節「**身を避ける、わが岩なる神よ。わが盾、わが救いの角、わがやぐら、わが逃(のが)れ場、私が救い主、あなたは私を暴虐(ぼうぎやく)から救われます。**」

詩篇91篇4節「**主は、ご自分の羽(はね)であなたをおおい、あなたは、その翼の下に身を避ける。主の真実は、大盾、また砦(とりで)。**」

詩篇115篇9節「イスラエルよ、**主に信頼せよ。主こそ助け、また盾。**」

詩篇28篇7節「**主は私の力、私の盾。私の心は主に抛り頼み、私は助けられた。私の心は喜び踊り、私は歌をもって主に感謝しよう。**」

詩篇33篇20節「私たちのたましいは主を待ち望む。**主は、私たちの助け、私たちの盾。**」

イエスキリストも信仰についてこう言われました。

ヨハネの福音書14章1節「**あなたがたは心を騒がせてはなりません。神を信じ、またわたしを信じなさい。**」

使徒の働き16章31節「**主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたもあなたの家族も救われます。**」

ガラテヤ人への手紙2章16節「しかし、人は律法を行うことによってではなく、ただ

**イエス・キリストを信じることによって義と認められると知って、私たちもキリスト・イエスを信じました。律法を行うことによってではなく、キリストを信じることによって義と認められるためです。」**

コリント人への手紙第二13章5節

**「あなたがたは、信仰に生きているかどうか、自分自身を試(ため)し、吟味しなさい。それとも、あなたがたは自分自身のことを、自分のうちにイエス・キリストがおられることを、自覚していないのですか。」**

#### **4. この信仰の大盾を保護と勝利の為の効果的に使う方法(団結する！)**

当時ローマ軍隊はこの大盾をもっと効果的に使うために、よその軍隊がしなかった特別な訓練をさせたそうです。それは、敵から矢や火矢の攻撃を受ける時に、すばやく大盾で団結(だんけつ)してグループをつくる訓練でした！当時ローマ軍隊が使っていた盾は互いに、かみ合って繋げるように作られたそうです。どこからも矢が一切入れないようにです。一緒に団結し、大盾をつなげれば、ローマ軍隊に四方八方から飛んで来る火矢の攻撃があっても、敵軍が槍(やり)や剣で攻撃して来ても、彼らはどこからでも安全に身を守ることが出来たのです。

天から雨が降るように、火矢の激しい攻撃が襲って来ても、ローマ軍隊はすばやくグループを作って大盾をつなぎ、身を守れただけではなく、さらに進んで、敵に向かって部隊で防ぐままで進み続けながら、敵軍にまで接近すると、敵に向かってやりを刺し続けながら、戦い続け、勝利することが出来たのです。

すばらしいではありませんか。まさに、この大盾はあらゆる敵の攻撃から、自分の身も、体も守られる防備の一番大切な手段だけではなく、一緒に団結し、盾をつなげて戦うならば、隙間なく、どんなところからの攻撃があっても関係なく、グループですばやく動き、前進しつづけ戦い、天下無敵のように、打ち勝つことが出来る手段となったわけでありませぬ。(写真参考)

**愛するクリスチャンプレイズチャーチ信仰の家族のみなさん！私はこのすばらしい事実を知っており、やっと神様がなぜ、信仰をローマ軍隊の大盾にたとえられたのがわかりました！**

**みなさん、この信仰の大盾によって、神様が私たちに望まれるのは何でしょうか。**

人生の中様々な霊的な戦いの時、信仰という大盾を用いて我々が各自個人的に戦うより、戦う抜(ぬ)け目(め)なく、共に信仰の大盾を持って団結し、一つにつながれて戦うなら、どこからの攻撃があっても、共に守られ、さらなる力を持って、敵たちに十分に立ち向かい、対抗し続け、打ち勝つことが続けて出来るのだという神のメッセージではありませんか。ですから、信仰生活は一人では、キリストを信じる信仰によって共にすることであることが分かります。そして、元気よく、勝ち続ける信仰生活が出来ないためには、一人では限界があり、共に団結した時に、共にどんな攻撃からも守られ、さらなる力を保ち続けることが出来ることを教えて下さっているのです。

牧師一人やすぐれた聖徒一人の力がいたとはいえ、教会全体が勝利するとは決して言えません。むしろ軟弱な人たちが集まったとしても、一緒に信仰生活をしながら共に支えられ、補い合われ、一つに繋がり、団結されれば、勝利のチームとなれるのではないのでしょうか。

今日個人主義が流行っている時代の中で、意外とクリスチャンたちも、ともに連合して共にグループで、チームで組んで一緒にすることが弱くなっているような気がします。主の教会、家の教会では、個人プレーではどんな試合では決して勝ち続けられないわけで、戦いにばらばらになっては決して霊的な戦いに勝つことはできません。

愛するみなさん！覚えてください。教会が主にある一つの信仰の大盾を持って一つになって団結するチームワークを通して、共に動き、共に働ければ、みんなが守られ、さらに大きな信仰の力、神の力を体験することが出来ると信じます。神の御国の働き、主の教会の働きは個人プレーではなく、団結して働くチームプレーであることを決して忘れてはいけません。今日私たちの教会のメンバーたちは一つの信仰を持っている勝利のチームなのです！

一人一人、子供まで全部大切なチームの欠かせない一員たちです。ともに信仰をあわせ、心を合わせ、力を合わせて、ともに繋がれて、支えながらともに戦って行けば、必ず、神の大成勝利！イエスキリストの御名による信仰の勝利を勝ち取っていくクリスチャンプレイズチャーチとなれると信じます。

新しい22年度が始まりました。また始まったこの新しい年度始めの4月にも、これからの一年間も、イエスキリストを信じる信仰を共に保ち、我らのうちに抜け目がないように一緒に繋がれて団結しましょう。必ず、今までも体験出来なかったさらなる大きな勝利の一年となると信じます！22年度、この一年間主イエスキリストを信じる信仰をしっかり立たせ、つなぎ合わせて、対抗し、戦い続けることによって、悪霊どもが天から落ち、敗北され、大なる勝利を治めるクリスチャンプレイズ教会と全家族となりますように切にお祈り申し上げます。アーメン！